

西小は おおきな 家族
Family
～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 4 月 9 日 (月) No. 1
発行人

慣れない小学校での毎日は、驚きと発見の連続・・・の川崎先生。

◇はじめまして◇

この 4 月より、櫛形西小学校の校長となりました川崎将人(かわさきまさと)と申します。平岡に生まれ、ずっと平岡に育ち、バリバリの西地区の人間です。近所にも西小の児童がたくさんいます。また、お父さんお母さんや、おじいちゃんおばあちゃんなど、知っている人もたくさんいます。そんな地域に見守られる中での赴任は、安心と心強さでいっぱい(ちょっぴりの恥ずかしさもあります)です。

ずっと中学校の教師をしておりましたので、小学校勤務は初めてです。正直言って、4 月 4 日の新任式、始業式までは不安で一杯でした。子どもたちに怖がられたらどうしよう? 話した言葉が通じなかったらどうしよう?, そんなことばかり考えていました。しかし・しかし・しかし・・・, その心配はもの見事に裏切られました。

◇4 月 4 日 (水) はうれしいことばかり◇

- ①朝、校門の前で児童のみなさんを待っている間、通り過ぎる車に会釈。???と思いつつも会釈を返してくれる地域の方のみなさんのあたたかさ。
- ②「おはようございます」と声をかけると、元気よく気持ちよいあいさつを、児童みんなが返してくれる。一瞬で吹き飛ばす不安。
- ③次の瞬間からは、何とも言えない幸せな時間。良くわからないけど、何となく小学校の先生みたいなおじさんがあいさつしてくれる。だからあいさつを返すんだという、身に着いた生活習慣。あいさつの大切さを分かっている子どもたち。
- ④ある一人の低学年の女の子が「これからよろしくお願いします」と深々と頭を下げしてくれる。言葉にならないほど感激。
- ⑤「新聞に載っていたあたらしい校長先生だ!」という男の子。いや、これってすごくないですか? 小学生ですよ。それも白黒のちっちゃな写真だったのに。
- ⑥「うちのお父さんが・・・」「おじいちゃんが・・・」と、川崎の事を知っている方が家で話題にしてくれたのだろうとわかる会話が聞こえる。地元だなあ。
- ⑦見守り隊の方々も、みんな親切で気さくな方ばかり。もちろん昔からよく知っている方もいらっしゃる。安心すること、この上ない。
- ⑧各地域から子どもを送ってきてくださる保護者の方も、もちろんよく知っている方もたくさん(一緒にバーベキューしたりとか・・・)。
- ⑨新任式。原稿を見ずにしっかり歓迎の言葉を言い切った児童会長。
- ⑩すべての式に、素晴らしい態度で参加する全校児童。
- ⑪自分が小学生の時に作った版画(高尾の穂見神社)が飾られたあやめホール。

この日は、こんなにうれしい事ばかりで逆に大丈夫か?と思うほど。これまでの不安は一体なんだったんだろう? 川崎の西小での第一歩は、なんともうれしい一歩になりました。